

地域回覧用

小原中部小 学校だより



令和8年2月20日

2025 第498号

文責 教頭 釜屋雄一

ぜひとも、学校
ホームページを
ご覧ください⇒



2 / 20 3年生 最後の発表練習

👉 みんなでつくる「福祉の学び」👈

3年生は、この一年間を通して学んできた福祉について、クイズ仕立てで楽しく分かりやすく発表します。音楽で練習したりコーダーの演奏も取り入れながら、会場の方に答えていただく場面を設けるなど、参加するみんなで作りに上げる工夫がたくさん込められた内容です。

これまで、聴覚障害のある方、視覚障害のある方、盲導犬の訓練に携わる方、車いす体験の講師など、多くの方々をお招きし、実際に触れながら学びを深めてきました。その経験の中で、困っている人を見かけたら「何かお手伝いすることはありますか」「何か困っていらっやいますか」と、相手に寄り添った声かけが大切であることに気付きました。

発表には、「誰かが困っていたら、みんなですぐに助け合いたい」という3年生のまっすぐな思いがあふれています。観ている人にもその優しい気持ちがしっかりと伝わる、心あたたまる内容になりそうです。



2 / 20 4年生 「10人の仕事物語」

👉 未来へ踏み出す一歩👈



1 / 2 成人式を迎えた4年生は、「4年生10人の仕事物語 しょう来目指す道」というテーマで、自分が将来なりたい職業について発表しました。一人一人が、その職業を選んだ理由を自分の言葉で堂々と語り、劇仕立てで発表が進むたびに、子どもたちの将来への思いや期待が伝わってきます。

子どもたちが選んだ仕事は多岐にわたり、自分の得意なことを武器にしようと考える子、憧れの職業を目指す子、家の仕事に興味をもって深く調べる子など、その姿はとても頼もしいものでした。どの発表にも、その子らしさと将来への希望が満ちています。

最後に語られた「自分のため、誰かのために、働くことができる人になりたい」という言葉は、聞く人の心を動かす大変立派なものでした。4年生がこの一年で育んできた思いやりや責任感、未来への大きな一歩を力強く踏み出す発表となることでしょう。